



第36回年次大会を開催

連合岩手花巻北上地域協議会（議長 高橋信秋）は11月20日（水）花巻市定住交流センターなはんプラザ（COMZホール）にて第36回年次大会を開催しました。

代議員52名（委任状含む）出席のもと、大会議長に自治労から糸川拓真代議員とフード連合から高橋一成代議員が選出され大会を進行。

冒頭の高橋議長より、今年の春闘にふれ「各組合の粘り強い交渉のもと、昨年に続き満額回答を勝ち取る組合もある中、2年連続となる高水準での妥結結果を見ることが出来た。

しかし物価やエネルギーの高騰、製造現場では原材料費の高騰、人手不足などが目立ち、まだまだ賃上げの効果が出ているとは言い切れず、連合が目指す人への投資による経済の好循環を生む為の原動力となり得ていない、価格転嫁を進め付加価値の適正な分配を拡大していかなければならない」とあいさつ。

また、多くの御来賓を代表し連合岩手より伊藤会長、推薦議員からは木村県議と名須川県議よりご挨拶をいただきました。



大会では、2024年度の一般活動経過や会計決算の報告に続き、議事の2025年度活動方針や規約の一部改定、次年度予算、役員の一部補充選出など、全ての議案が満場一致で承認されました。

引き続き、1年間宜しく願いいたします。

